

動物愛護管理センター新築工事設計業務
簡易公募型プロポーザル

質 問 回 答 書

【7月11日受付分】

番号	質問事項	回 答
1	実績業務について、「上記（動物愛護センター等）以外で多数の者が利用する公共施設（国又は地方公共団体の施設に限る。）」とありますが、設計業務の契約の相手方が、国又は地方公共団体と異なっても宜しいでしょうか。 （例えば、地方公共団体から設計施工一括で受注した建設会社と、設計業務の契約を締結して行った実績の場合など）	よろしいです。 （国又は地方公共団体の施設に限るとは、国又は地方公共団体が所有又は管理する公共施設をさし、契約の相手方は問いません。） なお、この場合においても、参加表明書作成要領1（3）イ（ア）に掲げる業務実績を証する書類の提出をお願いします。
2	業務工程計画表（様式7）について、記載した人員数は、契約金額に影響するものでしょうか。	契約金額に影響するものではありません。
3	その人員数等の記載内容も審査対象でしょうか。	技術提案書等評価要領に基づき、業務の実施方針を評価する上での参考となります。

【7月14日受付分】

番号	質問事項	回 答
4	譲渡犬室及び譲渡猫室について、譲渡犬室は面積に対して室数が多く、譲渡猫室は逆に、室数に対して面積が大きいように感じますが、想定されている室内空間は、廊下に面したハウス若しくは一室に複数のハウスが設置されているなど、こういった設えなのかを教えてください。	譲渡犬室は、廊下に面して、複数の個室が並んでいる形を想定しています。 譲渡猫室は、1室で複数の猫を管理することを想定しており、1室に猫用ケージを複数入れることを想定しています。
5	屋外施設である 56 m ² の倉庫について、どのような使われ方を想定しているのでしょうか。	除雪器具、公用車のタイヤ、その他屋外で使用する物品等のほか、猫用ケージ、猫用キャリーケース、動物用毛布等の保管を想定しています。
6	ドッグランについて、フリスビー等おもちゃの使用など、どのような遊ばれ方（又は制限）を想定しているのでしょうか。	ドッグランは、犬を運動させることを想定した場所ですが、具体的な使用方法については、今後、検討していきます。

7	本施設では獣医師や動物看護師は常駐しますでしょうか。	獣医師職員が常駐する想定です。
8	猫は室内管理が基本で、ドッグランのような屋外に出すことはないと考えてよいでしょうか。	猫は屋外に出さない想定です。
9	譲渡犬室は1頭1室なのか、1頭2室なのか、複数頭1室なのか、ご教授願います。	譲渡犬室は、廊下に面して、複数の個室が並んでいる形を想定しています。
10	譲渡猫室の猫用ゲージの大きさ及び1室当たりの個数などをご教授願います。	譲渡猫室で飼養するケージは、一般的な猫用のサイズである、床面積が90 cm×60 cm、高さが120 cm以上で、3段以上の構造を想定しています。 また、猫譲渡室は、全体で3～4室程度、1室当たりの猫用ケージの個数は、17～24頭程度を想定しています。

※ 質問書の受付は締め切りました。